

有機工業化学正誤表 (第1刷)

頁	行	誤	正
8	6行目	熟	熱
17	図 1.11	1.2mm	1.2nm
34	図 2.16 一番下の図左	H ⁺	H
44	表 2.10 金属不 活性剤の添加 目的	右のように変更	精製過程で微量混入する金属を駆除する。 金属は触媒として働き、ポリマーを生成す る。
51	下 10 行目	H ₂ C=CH-R (R = C ₄ ~C ₂₀)	H ₂ C=CH-R (R = C ₂ ~C ₁₈)
66	コラム	<p>「ダイナマイトとノーベル」の中のニトログリセリンの図に文章を追加</p> <p style="text-align: center;">↓</p> $ \begin{array}{ccc} \begin{array}{c} \text{H}_2\text{C}-\text{OH} \\ \\ \text{HC}-\text{OH} \\ \\ \text{H}_2\text{C}-\text{OH} \end{array} & \xrightarrow{\text{HNO}_3-\text{H}_2\text{SO}_4} & \begin{array}{c} \text{H}_2\text{C}-\text{ONO}_2 \\ \\ \text{HC}-\text{ONO}_2 \\ \\ \text{H}_2\text{C}-\text{ONO}_2 \end{array} \\ & & \text{ニトログリセリン} \end{array} $ <p style="text-align: center;">↓</p> $ \begin{array}{ccc} \begin{array}{c} \text{H}_2\text{C}-\text{ONO}_2 \\ \\ \text{HC}-\text{ONO}_2 \\ \\ \text{H}_2\text{C}-\text{ONO}_2 \end{array} & \xrightarrow{\text{衝撃}} & 6\text{N}_2 + 12\text{CO}_2 + 10\text{H}_2\text{O} + \text{O}_2 \\ & & (\text{ニトログリセリン}4\text{モルに対して}) \end{array} $	
134	図 7.6	酸触媒エステル化	酸触媒加水分解
		塩基触媒エステル化	塩基触媒加水分解
204	下 9 行目	配向膜は可溶性ポリイミドでできており、 ポリイミドの…	配向膜はポリイミドから作製される。前駆 体である可溶性ポリイミドの…
211	下 7 行目	(図 11.18)	(図 11.24)
216	図 12.2	ファルネソール (油) アンブレイン (油)	ファルネソール (ネロリ精油) アンブレイン (竜涎香)
	図 12.3 右の ように変更		
218	2行目	アセチル CoA(7.7.1)	アセチル CoA(p.129)
229	図 12.26	クロロヘキシジグ	クロロヘキシジン
232	下 7 行目	ウェーラー	ヴェーラー
233	7行目	1818年キニーネ	1820年キニーネ (マラリア治療薬)
	8行目	アドレナリン(強心剤)	削除
	10行目	1855年エフェドリン	1885年エフェドリン